

かすみがうら市様 事例のご紹介

新たな“本のある場所”の魅力について

2025/06/24

丸善雄松堂株式会社
地域共育事業本部

01 丸善雄松堂株式会社について

02 かすみがうら市様の
現状整理と課題

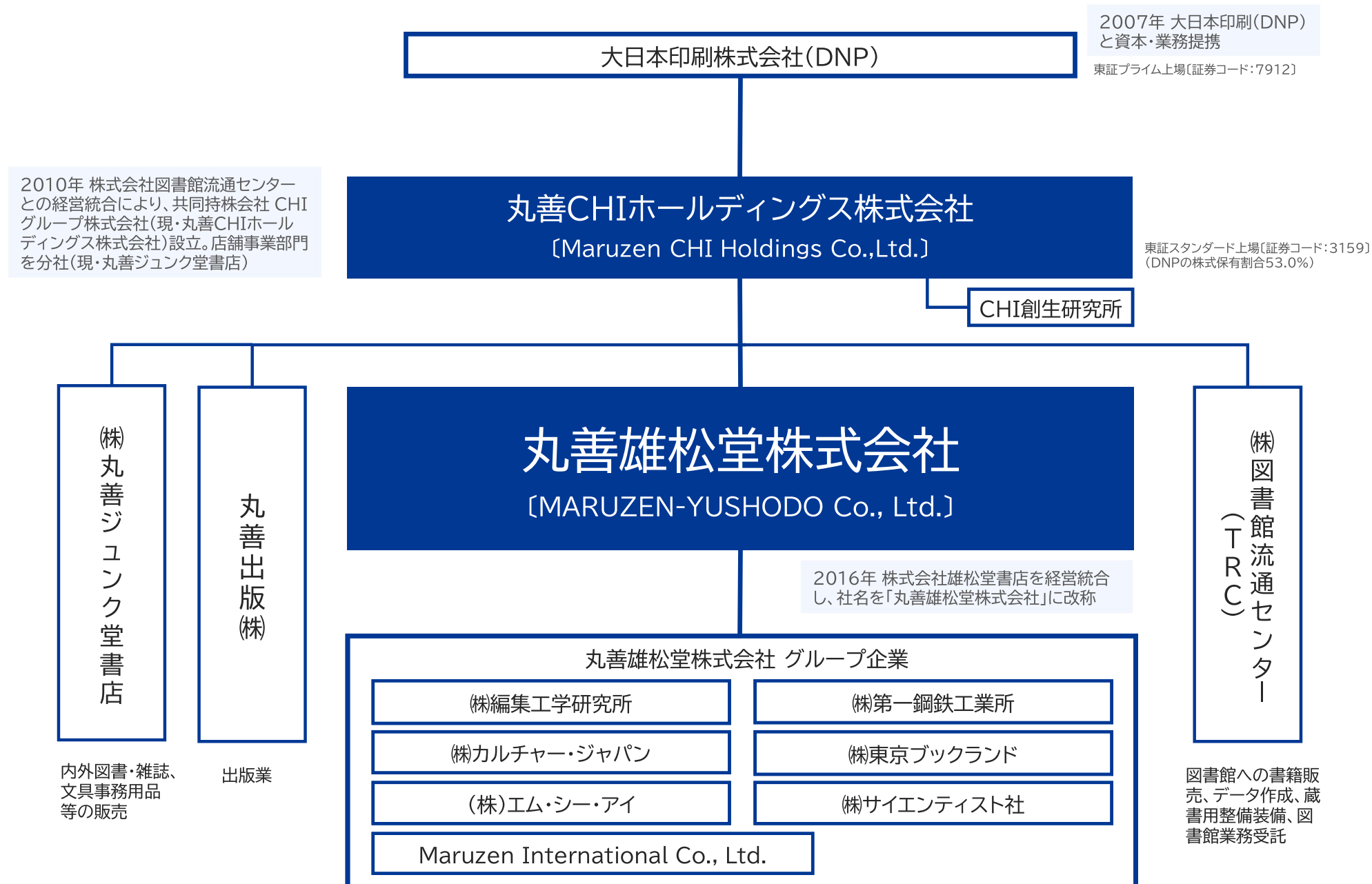
03 市民ニーズの分析と仮設

04 既存公共施設改修の方向性

05 事例紹介 福井県敦賀市
知育・啓発施設「ちえなみき」

06 ちえなみきモデルで解決できること

07 まとめ



01.丸善雄松堂株式会社について

商号	丸善雄松堂株式会社 ※1,2 (英文表記: MARUZEN-YUSHODO Company, Limited)
代表者	代表取締役社長 矢野 正也
本店所在地	東京都中央区日本橋二丁目3番10号
本社	東京都中央区新川1-28-23 東京ダイヤビルディング5号館10階
創業	1869(明治2)年1月1日
資本金	1億円
売上高	単体 323億700万円 (2024年2月1日~2025年1月31日)
従業員	正社員 約350名 臨時職員 約3,800名 (2025年2月時点)
事業内容	内外図書・雑誌、文具事務用品、スチール家具・図書館用家具・用品、コンピュータ・OA機器・教育機器 教材、洋品・衣料品・雑貨の販売業及び輸出入業／出版業／学術情報提供サービス業／文化・教育催 事・学術会議の企画・運営業／文具品・事務機器・教育機器の製造業／建築工事の設計・監理・請負業 ／通信教育、学校教育事業に関する経営コンサルティング業務／図書館業務の請負及び図書館等の 教育施設の運営代行並びに管理業務／労働者派遣事業 他

※1 2010年2月1日に(株)図書館流通センターと経営統合し、「丸善CHIホールディングス(株)〔東証スタンダード上場[コード:3159]〕」の100%子会社となったため、東京証券取引所の規定により上場廃止となっております。

※2 2016年2月1日に、丸善CHIホールディングス(株)の100%子会社であった「(株)雄松堂書店」と合併し、商号を丸善(株)から丸善雄松堂(株)へ変更いたしました。

01.丸善雄松堂株式会社について

私たちは、創業以来150年以上に亘って、図書館や書店に代表される「知の生まれる場所」、「知的な賑わいと交流の生まれる場所」をつくってきました。

誰もが気軽に、立場の隔たりなく、世界の多様な知に触れ、好奇心の赴くままに愉しむことのできる場の提供を通じて、大人も子どもも、まちもひと、共に育み、共に育つ、地域共育の拠点をつくります。

* 地域に生きる多様な人々と
その周辺にある様々な要素・プレイヤー

大人	子ども
まち	ひと
暮らし	文化
教え手（先生）	教わり手（生徒）
市民（利用者）	事業者



私たちは、「地域共育」の推進を通じて、個人の“生きる力”を育み、ウェルビーイングの追求に貢献し、地域に知的な活力に溢れる賑わいと交流を生み出し、持続的な成長と発展の基盤づくりに貢献します

市へのヒアリングから、以下の現状に課題感を持たれていることが確認された。

- ・かすみがうら市内図書館の利用頻度が低い
- ・隣の土浦駅に大規模図書館があり、かすみがうら市民の利用も多い

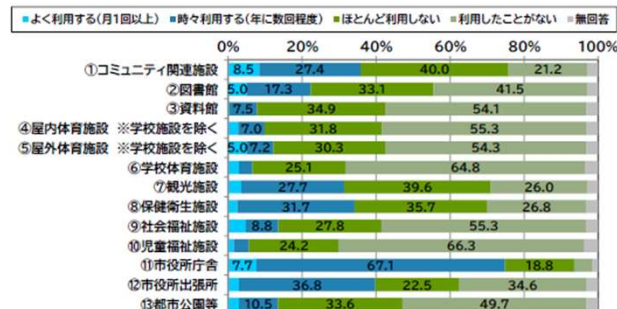
03.市民ニーズの分析と仮設

「住民アンケート調査結果」(令和6年1月15日～1月26日調査実施)の回答では、図書館を「利用する必要がない」が53.6%、「県や他の市の施設を利用している」が6.5%を占めている。

問14 あなたは普段、市の公共施設をどのくらいの頻度で利用していますか。施設の分類ごとに最も近いものに○をつけてください。

施設分類毎の利用頻度について、「よく利用する(月1回以上)」と「時々利用する(年に数回程度)」を合計した定期的に利用されている施設は、「市役所庁舎」が74.8%で最も高く、「コミュニティ関連施設」「観光施設」「保健衛生施設」「市役所出張所」は30～40%となっている。

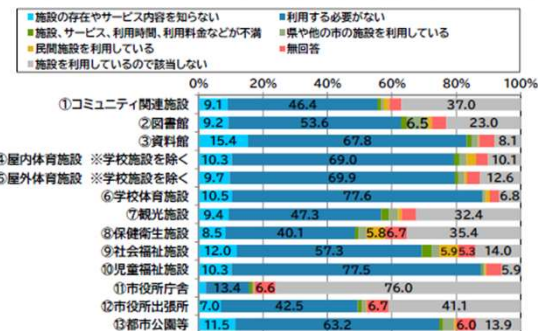
Q14	全体	1 よく利用 する(月1 回以上)	2 時々利用 する(年に 数回程度)	3 ほとんど 利用しない	4 利用した ことがない	5 無回答
①コミュニティ関連施設(あじさい館の公民館施設、千代田公民館、働く女性の会など)	1038	8.8	28.4	41.5	22.0	31
②図書館(あじさい館の図書館、千代田公民館にある分館)	1038	5.0	17.3	33.1	41.5	3.0
③資料館(郷土資料館、富士見塚古墳公園)	1038	0.3	7.5	34.9	54.1	3.2
④屋内体育施設(体育館、海洋センタープールなど)※学校施設を除く	1038	2.9	7.3	33.0	57.4	3.2
⑤屋外体育施設(野球場、テニスコート、運動広場など)※学校施設を除く	1038	5.0	7.2	30.3	54.3	3.2
⑥学校体育施設(小中学校の体育館等のスポーツ広場への開放)	1038	3.1	3.7	26.1	67.3	3.6
⑦観光施設(雪ふれあいの里公園、歩崎公園、水陸館など)	1038	3.8	28.8	41.1	27.0	3.1
⑧保健衛生施設(保健センターでの検診や各種手続き)	1038	2.6	32.9	37.1	27.8	3.4
⑨社会福祉施設(あじさい館・やまゆり館の福祉施設やトレーニング室など)	1038	2.5	31.7	35.7	26.8	3.3
⑩児童福祉施設(児童館・子育て支援センターの事業や行事への参加など)	1038	5.0	9.1	28.9	57.4	3.4
⑪市役所庁舎(千代田庁舎・鷹ヶ崎庁舎の窓口での各種手続きなど)	1038	4.8	8.8	27.8	55.3	3.3
⑫市役所出張所(中央出張所の窓口での各種手続きなど)	1038	1.6	4.3	25.1	68.8	4.0
⑬都市公園等(稲吉ふれあい公園、第2常陸野公園など)	1038	1.5	4.1	24.2	66.3	3.9
⑭市役所庁舎(千代田庁舎・鷹ヶ崎庁舎の窓口での各種手続きなど)	1038	8.0	69.6	19.5	5.0	1.7
⑮市役所出張所(中央出張所の窓口での各種手続きなど)	1038	7.7	67.1	18.8	4.8	1.6
⑯市役所出張所(中央出張所の窓口での各種手続きなど)	1038	3.1	38.2	23.4	35.9	3.2
⑰都市公園等(稲吉ふれあい公園、第2常陸野公園など)	1038	3.0	36.8	22.5	34.6	3.1
⑱市役所庁舎(千代田庁舎・鷹ヶ崎庁舎の窓口での各種手続きなど)	1038	3.1	10.9	34.9	51.6	3.3
⑲都市公園等(稲吉ふれあい公園、第2常陸野公園など)	1038	3.0	10.5	33.6	49.7	3.2



問15 問14で「ほとんど利用しない」「利用したことがない」と回答された施設の分類については、その主な理由を教えてください。該当する施設の分類ごとに一つ選び、番号に○をつけてください。

利用されていない理由について、「市役所庁舎」と「市役所出張所」を除く全ての施設で「施設の利用サービス内容やサービス内容がわからない」が約1割を占めている。その他の主な回答では、図書館は「県や他の市の施設を利用している」が6.5%を占めており、「保健衛生施設」「社会福祉施設」は「民間施設を利用している」の割合が約6%を占めている。

Q15	全体	9 施設を利用 しているが サービス内容 がわからない	1 施設の利用 サービス内容 がわからない	2 施設の利用 サービス内容 がわからない	3 施設の利用 サービス内容 がわからない	4 施設の利用 サービス内容 がわからない	5 施設の利用 サービス内容 がわからない	6 施設の利用 サービス内容 がわからない
①コミュニティ関連施設(あじさい館の公民館施設、千代田公民館、働く女性の会など)	1006	37.2	9.2	46.7	12.1	8.1	17.1	3.8
②図書館(あじさい館の図書館、千代田公民館にある分館)	1006	37.0	9.1	46.4	1.2	0.8	1.7	3.8
③資料館(郷土資料館、富士見塚古墳公園)	1006	23.2	9.3	54.0	1.8	6.5	1.3	4.6
④屋内体育施設(体育館、海洋センタープールなど)※学校施設を除く	1006	23.0	9.2	53.6	1.8	6.5	1.3	4.6
⑤屋外体育施設(野球場、テニスコート、運動広場など)※学校施設を除く	1006	8.1	15.4	67.8	1.6	2.0	0.4	4.8
⑥学校体育施設(小中学校の体育館等のスポーツ広場への開放)	1006	10.2	10.4	69.4	1.6	2.3	3.0	3.7
⑦観光施設(雪ふれあいの里公園、歩崎公園、水陸館など)	1006	12.7	9.7	70.2	1.1	2.0	0.8	4.0
⑧保健衛生施設(保健センターでの検診や各種手続き)	1006	13.5	9.7	65.2	1.1	2.0	0.8	4.0
⑨社会福祉施設(あじさい館・やまゆり館の福祉施設やトレーニング室など)	1006	6.8	10.5	77.6	0.3	0.7	1.3	2.8
⑩児童福祉施設(児童館・子育て支援センターの事業や行事への参加など)	1006	32.6	9.5	47.6	2.4	2.8	12.2	4.6
⑪市役所庁舎(千代田庁舎・鷹ヶ崎庁舎の窓口での各種手続きなど)	1006	32.4	9.4	47.2	2.4	2.8	1.2	4.6
⑫市役所出張所(中央出張所の窓口での各種手続きなど)	1006	35.5	8.5	40.3	1.1	2.5	5.8	6.7
⑬都市公園等(稲吉ふれあい公園、第2常陸野公園など)	1006	35.4	8.5	40.1	1.1	2.5	5.8	6.7
⑭市役所庁舎(千代田庁舎・鷹ヶ崎庁舎の窓口での各種手続きなど)	1006	14.1	12.0	57.5	3.3	2.3	5.9	5.3
⑮市役所出張所(中央出張所の窓口での各種手続きなど)	1006	14.0	12.0	57.3	3.3	2.3	5.9	5.3
⑯市役所出張所(中央出張所の窓口での各種手続きなど)	998	5.9	10.3	77.5	0.5	0.6	0.5	4.7
⑰都市公園等(稲吉ふれあい公園、第2常陸野公園など)	998	5.9	10.3	77.5	0.5	0.6	0.5	4.7
⑱市役所庁舎(千代田庁舎・鷹ヶ崎庁舎の窓口での各種手続きなど)	1021	77.6	2.3	13.7	1.1	5.2	2.7	6.7
⑲都市公園等(稲吉ふれあい公園、第2常陸野公園など)	1006	76.0	2.3	13.4	1.1	0.6	0.2	6.6
⑳市役所出張所(中央出張所の窓口での各種手続きなど)	1006	41.1	7.0	42.5	1.3	1.2	0.3	6.7
㉑市役所出張所(中央出張所の窓口での各種手続きなど)	1006	41.0	7.0	42.5	1.3	1.2	0.3	6.7
㉒市役所出張所(中央出張所の窓口での各種手続きなど)	1006	13.9	11.5	63.2	1.1	3.6	0.7	6.0



「住民アンケート調査結果」(令和6年1月15日～1月26日調査実施)の回答では、図書館を「利用する必要がない」が53.6%、「県や他の市の施設を利用している」が6.5%を占めている。この結果より、市の図書館に新たな魅力が必要と考え、回答に至る仮設を以下とした。

仮設A : 図書館に面白い本がない(選書的要因)

仮設B : 図書館でやりたいことができない(空間的要因)

仮設C : 市内に書店もなくなり、
本に親しむ環境・習慣が身近にない(環境的要因)

【課題】

- ・市内図書館の利用頻度が低い
- ・近隣の市の大規模図書館を利用する市民が多い

【仮設】

- ・図書館に面白い本がない
- ・図書館でやりたいことができない
- ・市内の書店がなくなり、本に親しむ環境・習慣が身近にない



- 近隣に土浦市立図書館があり、さらに市には図書館本館と分館が既にあるため、中心市街地に通常の図書館は不要
- 「小さい図書館」もニーズへの解決策としては異なる



図書館的な機能があり、読書以外の居場所ともなる
“**本のある場所**”が理想

目的： 知育啓発施設

業態： 公民連携による書店業態(書店の指定管理業態は、全国初)

所有者： 敦賀市

指定管理者： 丸善雄松堂(株)・(株)編集工学研究所

開業： 2022年9月1日(木)

書籍：3万冊以上(新刊、古書、洋書が混在 開業時3.7万冊)

取扱商品： 書籍(国内外新本および古書)、雑貨、食品、知育玩具ほか

提供サービス：書籍・雑貨・食品販売、カフェ、各種イベント、共創活動



①丸善雄松堂株式会社(指定管理者代表企業)

- 運営計画の策定およびその詳細化
- 敦賀市および関係各社との折衝
- ちえなみきの運営管理全般
- 敦賀みらい会議や市民ネットワーキング活動の実施による利用者からの意見集約とそれを反映したアクションプランの策定と実施

②株式会社編集工学研究所(指定管理者構成企業)

- 書籍選定および陳列(各種イベント時の選書も含む)
- 演出プランの企画立案
- 読書を軸とした市民ワークショップ企画立案

「公設民営書店」のあり方

本の設置や運営にかかる負担を自治体に扶助いただき、民間が企画・運営を行う書店。民間独自の選書によって価値ある本を揃え、地域の「知のインフラ」機能を担い、教育・文化の振興、次世代人材の育成に貢献し、まちの未来を創造する拠点。



①「予期せぬ本との出会い」 発見と探究の場

独自の選書メソッド、居心地の良い特徴的な本棚空間、棚や陳列に多様な仕掛けを施し、普段あまり本を読まない方にも、図書館や書店のユーザにも、新鮮な発見と出会いを提供。



②テーマごとの「文脈棚」

新刊・古書・洋書が混在し、さらに通常の図書館とは異なる体系によって分類されたテーマごとの「文脈棚」を構築し、新しい本、新しい興味との出会いを提供する。



③多世代が交流する賑わいの場、居場所

カフェや多様な居場所空間、学習・交流スペースを併設。本が持つ世代・属性を問わない幅広い集客力を活かし、持続的な賑わいの創出、市民活動の促進、地域コミュニティの形成に貢献する。

05.事例紹介 敦賀知育・啓発施設「ちえなみき」特長 MARUZEN-YUSHODO

①「予期せぬ本との出会い」 発見と探究の場

独自の選書メソッド、居心地の良い特徴的な本棚空間、棚や陳列に多様な仕掛けを施し、普段あまり本を読まない方にも、図書館や書店のユーザにも、新鮮な発見と出会いを提供。



05.事例紹介 敦賀知育・啓発施設「ちえなみき」特長 ㊦ MARUZEN-YUSHODO

②テーマごとの「文脈棚」

新刊・古書・洋書が混在し、さらに通常の図書館とは異なる体系によって分類されたテーマごとの「文脈棚」を構築し、新しい本、新しい興味との出会いを提供する。

隣接する棚と棚の関係性(文脈)を配慮
*上:草木/下:昆虫



「漫画」も「学術書」も
ひとつのテーマに同居



本・人・まちをつなぐ本棚



③多世代が交流する賑わいの場、居場所

カフェや多様な居場所空間、学習・交流スペースを併設。本が持つ世代・属性を問わない幅広い集客力を活かし、持続的な賑わいの創出、市民活動の促進、地域コミュニティの形成に貢献する。



05.事例紹介 敦賀知育・啓発施設「ちえなみき」効果 ㊟ MARUZEN-YUSHODO



①振る舞いの多様性の実現

人としての幸せ、人・社会とのつながりへの欲求、自己実現欲求等、人それぞれの多様な欲求を実現させる場となっている。



②来場者数、イベント参加者数の増加

定員20名のイベントに対し、160名(8倍)の申込が寄せられる等、市内外共に来場、イベントへの参加が多い。敦賀を起点とした新しいネットワークが生まれている。

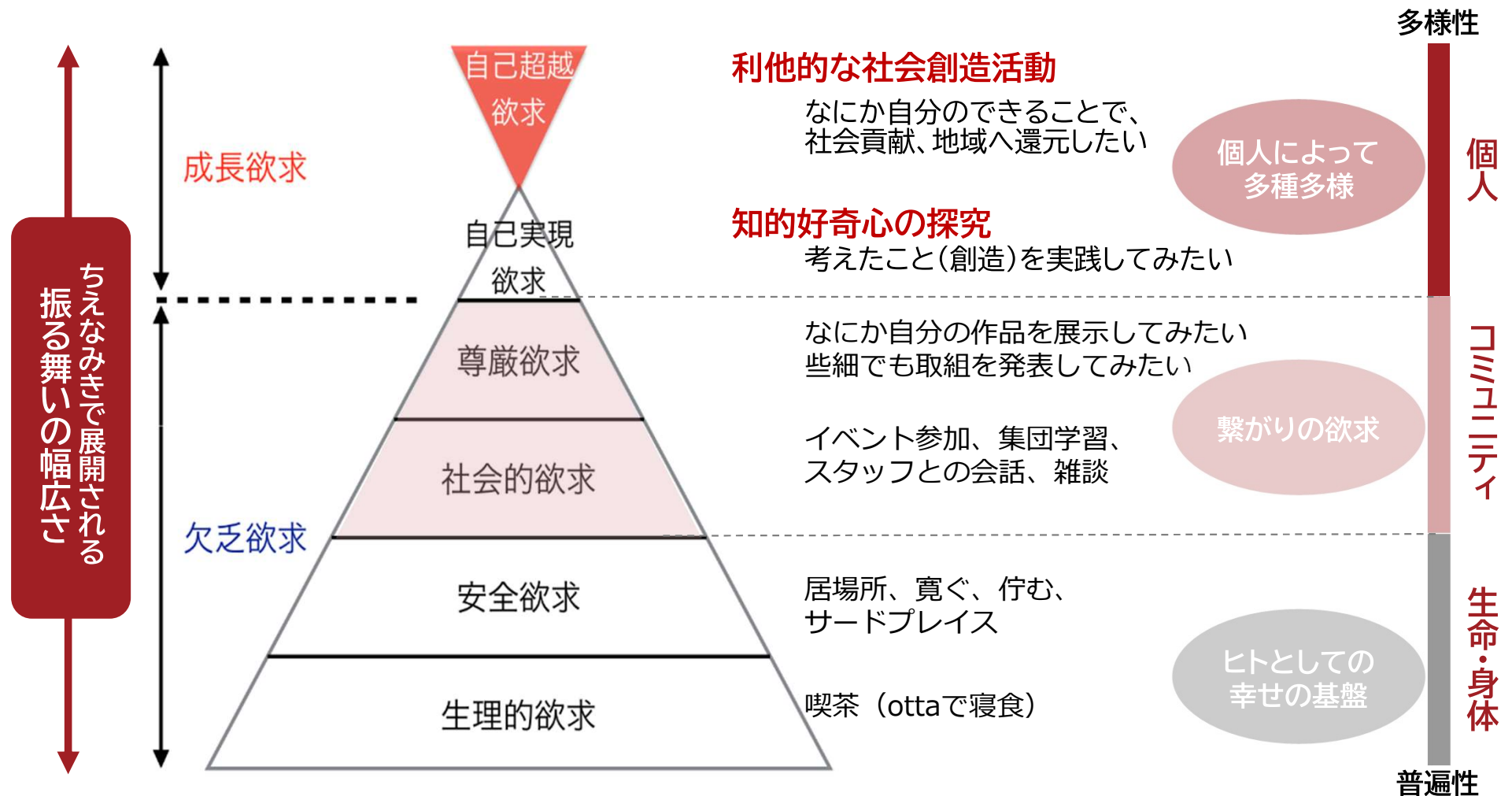


③興味を拓ける、深掘りできる(近隣図書館とのすみわけ)

本を通して情報、人、興味関心に出会い、学識者から得られる本物の知から、利用者自身が成長する軸を満たすような発見、探究ができる場となっている。

①振る舞いの多様性の実現

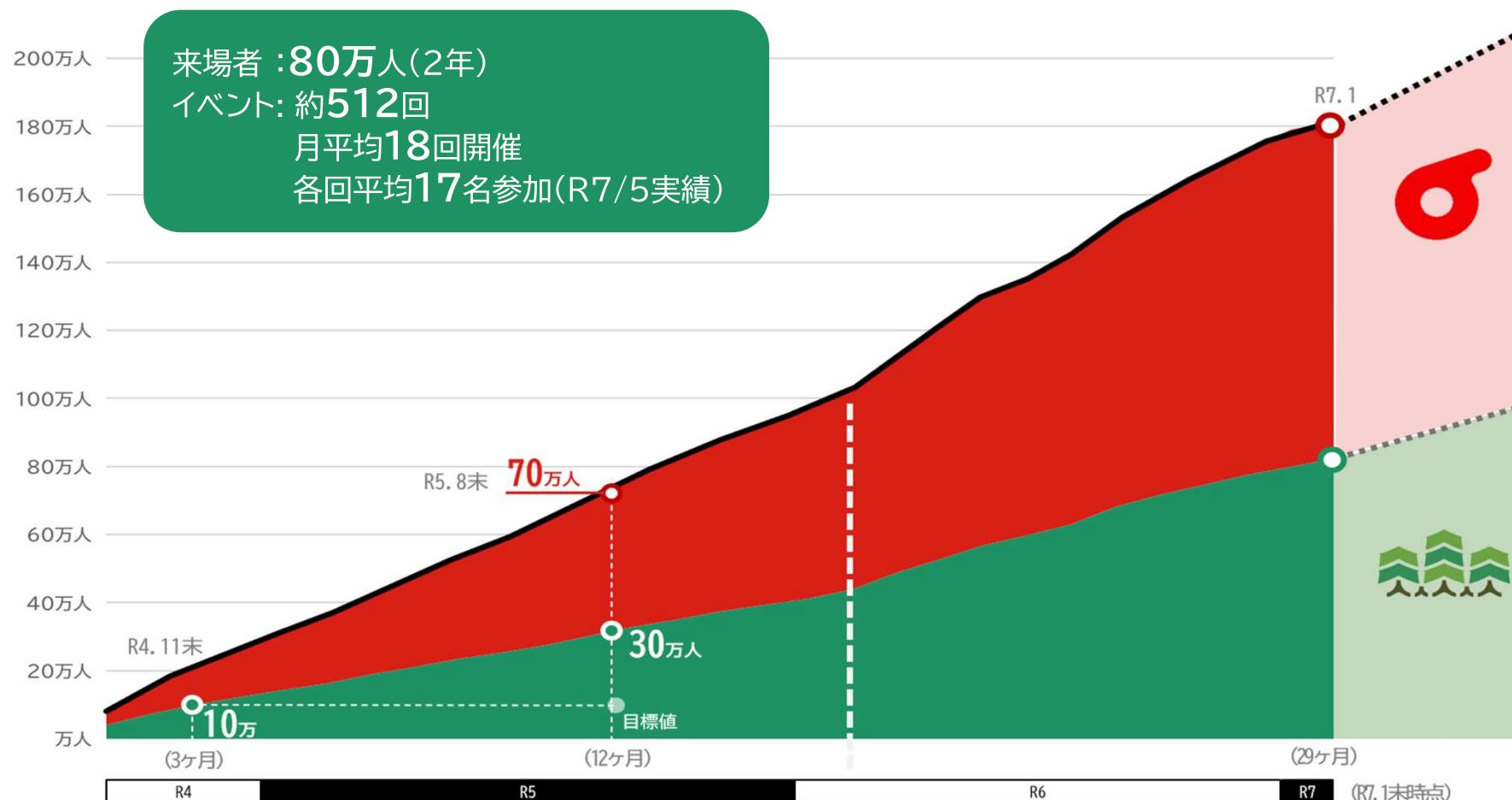
人は5つの段階欲求＋自己超越欲求という社会・地域への貢献等利他的な欲求を持つ。ちえなみきでは、これらの欲求を実現させる多様な振る舞いが見られる。



心理学者マズロー : マズローの欲求5段階説「自己超越」: 晩年にマズローが発表した領域

②来場者数、イベント参加者数の増加

定員20名のイベントに対し、160名(8倍)の申込が寄せられる等、市内外共に来場、イベントへの参加が多い。敦賀を起点とした新しいネットワークが生まれている。



R6/3/16北陸新幹線開業

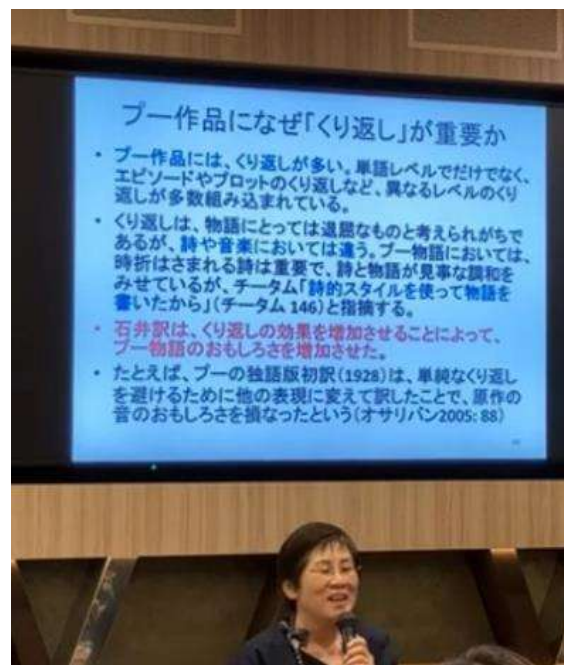
※敦賀市提供資料

③興味を拓ける、深掘りできる(近隣図書館とのすみわけ)

本を通して情報、人、興味関心に出会い、さらに学識者から得られる本物の知から、利用者自身が成長する軸を満たすような発見、探究ができる場となっている。



「敦賀の歴史をこねる会」
敦賀市立博物館学芸員



「石井桃子に学ぶ、
子どもをひきつける翻訳文体」
東洋大学 竹内美紀准教授



「英語本をリライトしよう」
東京外国語大学
高島英幸名誉教授

仮設A:面白い本がない

仮設C:本に親しむ習慣、環境が身近にない

▶ 多様な本との出会い

独自の選書メソッドと、多世代が利用しやすい場での展開によって子どもから大人まで、本に親しむ環境を育みます。

仮設B:やりたいことができない

▶ 本を介した交流・体験・学びの場

地域と連携した様々なプログラムの他、図書・コミュニティなど複数機能のシームレス性や、ルールの柔軟性を考え、知との出会いと探究を重ねられる場を育みます。

仮設の解決によって市民は…

- ・本を通じて新たな知に出会う、探究することができる
- ・本を通じて多世代と交流することができる



かすみがうら市は…

- ・多様な本との出会い、まなびのプログラムを通じて多世代間の交流を促進することができる
- ・地域のハブとして人と知がつながる、新しい価値を創出する

書店減少や図書館の停滞により、特に地方における本との接点や読書体験が希薄化しています。

私たちは、「共育」というコンセプトのもと、「公民連携書店」というフォーマットを用いて、本を介して知と人と地域が繋がり、人材の育成によって地域の価値を底上げし、未来に資する財をつくる、新しい公共の役割を示す施設をつくりたい、と考えています。

最後までご覧いただきありがとうございます。
本資料及び弊社に関するお問い合わせは、下記までお気軽にお寄せくださいませ。

担当部署

丸善雄松堂株式会社
地域共育事業本部
山田 美晴(やまだ みはる)
【MAIL】miharu.yamada@maruzen.co.jp
【TEL】080-5863-7366

【所在地（新川オフィス）】

〒104-0033 東京都中央区新川1-28-23
東京ダイヤビルディング5号館10階
総合受付：9階

<アクセス>

◆電車

茅場町駅(東西線、日比谷線)
八丁堀駅(日比谷線、JR京葉線)から 徒歩8分～10分

◆都営バス

「東16系統」東京駅八重洲口行／東京ビッグサイト行、「住友ツインビル前」下車 徒歩3分
「東22系統」丸の内北口行／錦糸町駅前行、「永代橋」下車 徒歩3分

丸善雄松堂株式会社コーポレートサイト

<https://yushodo.maruzen.co.jp/>

